

志免町議会一般会議 報告書

提出日 令和4年 6月 22日

記録者 牛房 良嗣

団体名 まちの暮らしを見つめる住民の会		住民の参加人数 4人	
月 日	令和4年 4月 26日(火)	会 場	志免町役場 4階 第1・2委員会室
開始時間	午前 11時 00分	終了時間	午後 0時 20分

テ ー マ	<p>公金の適正な執行・支出について</p> <p>①契約事務の適正な執行について ②「志免町職員等の旅費に関する条例」の住民監査請求・結果に基づく適正化について ③第1期中期財政計画の総括及び第2期中期財政計画の骨子 ④その他</p>
内 容 の 説 明	<p>以下は、まちの暮らしを見つめる住民の会が説明された要旨をまとめたものです。</p> <p>①契約事務の適正な執行について ・令和3年6月議会の補正予算に計上された「空気浄化装置」は、メーカーを指定して購入すると説明があっていたが、地方自治体の契約として許されるのか疑問。 ・令和2年11月臨時議会に上程された「電子黒板」の取得について、広く普及している製品をプロポーザル方式で購入する在り方に非常に疑問を持っている。また、予算の段階では180台だったのが購入する時点では227台となっており、予算執行に大きな問題があると考えている。</p> <p>②「志免町職員等の旅費に関する条例」の住民監査請求・結果に基づく適正化について 平成26年の旅費に関する住民監査請求への監査結果については、到底理解できるものではなく、承認しがたい。 ・一夜の加算を支給しているのは志免町のみで他自治体と比較すると高額である。 ・実費弁償の限度を大きく上回っており問題であると考えている。 ・これまでも行政や議会に改善の要請を行ってきたが、対応に全く誠意が見られず残念。これらのことを踏まえ、議会側でも再度議論していただきたい。</p> <p>③第1期中期財政計画の総括及び第2期中期財政計画の骨子 ・第1期中期財政計画(平成27～平成31年度)では、収支予測が23億1,775万円の赤字だったが、実績では25億734万円の黒字になっており、差額は48億2,510万円。赤字の予測のままでは、政策判断に影響してくるため、計画の見直しがあつてしかるべきだったのでは。</p>
意 見 交 換 会 で の 質 疑	<p>以下は、まちの暮らしを見つめる住民の会の説明に対する議会からの発言の要旨です。</p> <p>①「電子黒板」の取得は議案として提案された。プロポーザル方式で購入することは議会側は全く知らず、総務委員会も紛糾した。その後、予算委員会の中で問題を追及したが、行政側は一貫して問題ないということで今に至っている。</p> <p>②平成29年3月議会で、特別職について一夜の加算を廃止する条例改正が提案されたが、以前から議会も1日を1夜に変えた経緯や、議会とのかかわりもあり、今後、すり合わせをする必要があるのでは等の意見もあり否決され、それ以降は動きがあっていない。</p> <p>③第1期では、非常に予測と反した結果が出てしまった。第2期については今後注視していきたい。</p>
意 見 ・ 提 言	<p>①「電子黒板」取得の件で議会から指摘されたことを受け、町長は令和3年8月にプロポーザルマニュアルを改訂しているが、予算執行や入札に関しては、疑念を抱かせたり混乱を招くようなことがあつてはならない。今後は十分に注意を払い、緊張感を持って臨むよう議会として進言する。</p> <p>②日当の一夜の加算については、議会運営委員会において協議する。</p> <p>③中期財政計画については、所管である総務文教常任委員会において、今後も注視していきたい。</p>

令和 4年 6月 22日

一般会議実施要綱 第8条第1項の規定により提出します。